

Hult Prize @TUS

~ハルトプライズ 東京理科大学~

大会報告

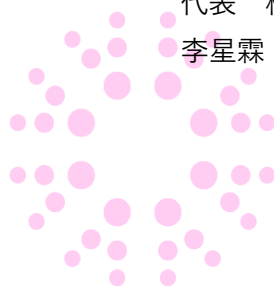
顧問

牧野 恵美 准教授

運営局

代表 松本真季 副代表 中田渉太郎

李星霖 今田眞位 山口知朗 村松昂洋



目次

- 1、開催詳細
- 2、大会進行
- 3、審査員
- 4、参加チーム一覧
- 5、順位
- 6、アイデア詳細
- 7、大会の写真

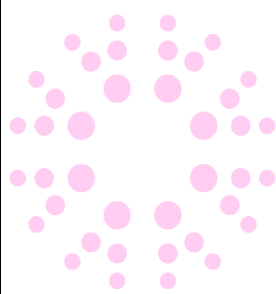
1、開催詳細

【日時】2017年12月9日(土) 10:00~17:30

【場所】東京理科大学 神楽坂キャンパス 富士見校舎 F101 教室

2、大会進行

8:30	運営局到着
9:00	参加チーム到着(F302)
	リハーサル
10:00	開場(F101) 審査員到着(F302)
10:30	オープニングセレモニー
11:00	iloha
11:15	CafriKa
11:30	Pecori
11:45	TNT Paps
12:00	昼休憩
13:00	Noisy tribes
13:15	LOFE
13:30	MALAYA
13:45	MIZUIRO
14:00	休憩
14:15	Publick Hole
14:30	Keep Your sMile
14:45	Lifesaver
15:00	HOTARU
15:15	休憩
15:30	ENERGY GRID
15:45	4M
16:00	ジャッジタイム
17:00	クロージングセレモニー
18:00	懇親会(2F)
20:00	All Over



MULT
PRIZE

University of Science

3、審査員

近間 輝美 様(富士通顧問 FUJITSU ユニバーシティ特別顧問)

大戸 範雄 様(武田計測先端知財団 専務理事)

糸井 孝富 様(ユニバーサルミュージック CFO, GLOBIS 教鞭)

4、参加チーム一覧

・MIZUIRO
中野 袖衣
河合 真刀
小林 純正
中村 音々
・Lifesaver
行弘 徳志
滝沢 駿介
君野 功季
加藤 大輝
・LOFE
大谷 結衣
海野 直紀
大西 こずえ
安保 厚志
・Publick Hole
小脇 匠
今井 駿
松村 拓也
篠原 魁斗
・iloha
菅沼 幸起
篠塚 凌我
吉田 巧
・TNT Paps
門井 駿幸
増田 辰徳
葛西 徳一
・CafriKa
ルシオシエン
ポン スーエン

安藤 賢太郎
長谷川 琢斗
・HOTARU
増淵 勝也
鈴木 健一
長谷川 拓実
・4M
菅沼 亮輔
當摩 直樹
山崎 愛美
濱田 萌木
・Keep Your sMile
藤田 有琳
山本 大成
大本 薫
・Pecori
土岐 安澄
渡辺 智成
Jelani Fikry
渡辺 雄
・MALAYA Science
mohammad Fitri
Nur Atikah
Norsyafeza
Ahmad Faizuddin Zulpa
・Noisy tribes
吉岡 宏樹
須藤 光児
山口 恭平
・ENERGY GRID
吉田 真人
松野 滉季

鈴木昌宏

5、順位

- 一位 Noisy tribes
- 二位 Keep Your sMike
- 三位 LOFE

6、アイデア詳細

【一位 Noisy tribes】

旅行者にバックパックを貸し出すサービスを作る事で、気軽に海外旅行に行きやすくすると共に、燃料や時間、人件費などのエネルギーを削減する事を考えました。貸し出した物には社名を入れ、SNS にアップしてもらって知名度を獲得し、新しいビジネスを展開出来る環境を作りました。

【二位 Keep Your sMike】

身近なところからエネルギーロスを考える。
ペットボトルの水、飲み干せなくてもったいない～自分で量調節できたら良いのに～
そもそも、ペットボトルって飲み干した瞬間ただのゴミだよ～
そんなたわいのない会話からペットボトルに疑問を持ち始めた。
ペットボトルを調べていくとペットボトルのゴミが海の生物・海の鳥・更には人体に影響していることを目の当たりにした。
そこで私たちはペットボトルを根源から無くすガソリン型自販機システム「DRINK STATION」を提案した。
ドリンクタンクとマイボトルを利用し、好きな飲み物を好きな量だけ購入できる「DRINK STATION」は飲み物の無駄が生まれない。情報技術を駆使し、キャッシュレスな上にカロリーチェックもできる。そして何よりもペットボトルゴミが排出されない。

【三位 LOFE】

私たちの考えたアイデアは、“ゲーム”でゴミ問題を解決しようというものです。
貧困国の一つであるバングラデシュでは道端に大量のゴミが不法投棄されており、そのゴミがエネルギーになり得るという着眼のもと、ゴミを分別して捨てる意識を根付かせようと考えました。教育には楽しさ、わくわく感が必要であると思い、ゴミとゲームを結びつけました。私たちが設立したゲームセンターにゴミを持ってきてもらいスタッフのサポートのもとゴミの分別方法、リサイクルの仕組みについて学び、さらに人々は無料でゲームを遊ぶことができます。そして生ゴミはコンポストにより有機肥料に作り替え、その他のゴミはリサイクル業者に売るなどして利益を得ようというビジネスプランです。業者がゴ

ミをただ回収するよりも、好奇心と教育がその中にはあり、 Bangladesh を始めとする世界中の人々のゴミに対する知識の取得と意識の変革を目的としたアイデアです。

7、大会の写真



集合写真



1位 Noisy Tribes、運営局との写真



2位 Keep Your sMike の写真



3位 LOFE、運営局の松本、村松の写真



岡村理事、審査員、Noisy Tribesとの写真
@Tokyo University of Science



大会中の様子